

福祉心理学特別研究

担当教員

単位数

配当学年

中村 修

6単位

2年

履修方法(授業形態)

SR

■事前に受講してほしい講義等

心理学的な理論と支援（健康心理学）・心理学的な支援と応用演習（健康心理学）

■授業のテーマ

福祉心理学研究法の活用

■授業の目的

心理学に関する研究課題を自ら設定し、心理学研究法を用いて研究を行い、論文にまとめる。

■授業の到達目標

1. 自らの興味関心に基づき、心理学領域の研究課題を設定できる。
2. 設定した研究課題に基づき、先行研究等の必要な情報を主体的に収集できる。
3. 心理学研究法を用いて、自らの研究計画をたて、実施することができる。
4. 収集したデータを適切に処理することができる。
5. 得られた結果を研究目的にそって適切に意味づけることができる。

■授業の概要

これまで学んできたことを用いて、研究を行えるようになることを目指します。受講生は皆、大学院に入学する前から何かしら研究したいと思うことを持っていたはずだと思いますが、その自らの疑問を仮説検証型の研究スタイルにのっとった形に特定化して、それに見合った方法を選んでいくことが求められます。頭の中にある考えを形にする、形にしたものを実行する、実行したものをまとめて次の課題へとつながる、といったことは研究に限ったことではないと思いますが、「心理学」「研究」という縛りのある中で主体的に取り組んでもらいます。

■授業の方法

個別指導

■授業時間外学修（予習・復習等）

先行研究の収集に励んでほしい。そして、先行研究から「採用されている研究法・統計処理について、なぜその研究目的からこの方法がもちいられることになるのか」を吟味してほしい。また、用いられている表現・文体を意識して先行研究を読み、日常語や他の専門領域とは異なる心理学論文での言葉遣いについて学んでほしい。

■評価の方法・基準（評価割合）

3回のレジュメ（30%）、論文内容（60%）、最終プレゼンテーション（10%）

■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ（構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ）提出が必須。

■論文作成のポイント（テーマと内容等）

	ポイント
1	テーマ：テーマの明確化① 研究の動機の確認 内容：研究したいと思う事柄が明確になるように文章化する
2	テーマ：先行研究の収集 内容：様々なメディアを用いて先行研究を検索、収集する
3	テーマ：先行研究の読解 内容：先行研究を読み込む
4	テーマ：先行研究の分類整理 内容：先行研究をいくつかの観点で分類整理する
5	テーマ：先行研究からの課題の整理 内容：先行研究から示される課題を明確にする
6	テーマ：テーマの明確化② 先行研究を踏まえて 内容：先行研究を収集し検討したうえで、改めて自身の研究課題を明確化する
7	テーマ：仮説を生成する 内容：研究目的を仮説の形に表す。
8	テーマ：研究方法の検討① 独自に考える 内容：仮説を検証するための方法を考える。
9	テーマ：研究方法の検討② 先行研究に基づき考える 内容：仮説を検証するための方法を、先行研究に基づいて考える
10	テーマ：仮説の検討 内容：研究方法を踏まえて、改めて研究の目的と仮説を検討し、必要があれば修正する
11	テーマ：研究計画の立案① 研究協力者 内容：どこで誰に対して調査・実験をするのか明確にする
12	テーマ：研究計画の立案② 測度・尺度・指標 内容：何をを用いてどのようなデータを示すのか明確にする
13	テーマ：予備調査・実験の計画 内容：本調査・本実験を行う前に、事前に把握しておくべきことを明確化する
14	テーマ：予備調査・実験の実施 内容：予備調査・実験を行う
15	テーマ：予備調査・実験のまとめ 内容：予備調査・実験の結果をまとめ、本調査・実験にフィードバックする
16	テーマ：仮説、調査・実験に用いる方法の確定 内容：本調査・本実験での仮説と方法を明確にする
17	テーマ：調査・実験法の確定 内容：確定した方法を実際するとどのようなデータが集まるのかを踏まえて、仮説検証に用いるデータ分析法（統計処理）を選択するのか、見通しを立てておく
18	テーマ：調査・実験の準備 内容：研究協力者を募集するなど、実施に向けた体制を整える
19	テーマ：調査・実験の実施 内容：調査・実験を実施する
20	テーマ：結果① コーディングの確認 内容：得られたデータを入力するまえに、コーディング等の事前準備を行う
21	テーマ：結果② データ入力 内容：データ入力を行う、欠損値や逆転項目の処理を行う
22	テーマ：結果③ 記述統計 内容：入力されたデータを用いて、平均等の記述統計をとっておく
23	テーマ：結果④ 統計処理 内容：仮説検証に必要な統計処理を行う

ポイント	
24	テーマ：結果⑤ 図表の作成 内容：結果の説明に用いる図表をまとめる
25	テーマ：結果⑥ 文章化 内容：結果を説明する文章を記述する
26	テーマ：考察① 仮説 内容：結果に基づいて仮説が支持されたと言えるか、支持されなかった場合どんなことが考えられるかなどについてまとめる
27	テーマ：考察② 限界、今後の課題 内容：得られた知見の一般化の範囲など、研究の限界や残された課題について整理する
28	テーマ：論文全体の整理 内容：章立て、引用・参考文献の整理等を行う
29	テーマ：プレゼンテーションの準備① 内容の取捨選択 内容：論文の中から特にプレゼンテーションで取り上げる事柄を明確化する
30	テーマ：プレゼンテーションの準備② 資料の作成 内容：聞き手に配慮してわかりやすくなるように発表用資料をまとめる

■教科書・テキスト

適宜紹介する。

■参考書・参考資料・参考 URL 等

小塩真司『SPSS と Amos による心理・調査データ解析（第4版）』東京図書、2023年

松井豊『三訂版 心理学論文の書き方』河出書房新社、2022年

近藤龍彰・浅川淳司『心理学論文解体新書』ミネルヴァ書房、2022年